

# 単元構想表 (ver.3.2)

学 → ① ② ③ 領 → A B C  
 言語活動 → ア イ ウ 他 指導事項

(第1学年) 単元名：話題や展開を捉えて話し合おう  
 指導者：大垣市立上石津中学校 教諭 片山 博寿

All Clear

言語活動例		学年	領域	記号	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。					
指導事項		1年	A領域	イ	言語活動	重点化	学習活動	評価規準	留意点 他	時
学年	領域	記号	導入（学習への見通し）		か す る 誰 た も め が に 足 は を 、 運 び た く は な る が 魅 で か い る だ ら う 館 に	○	・今までの学級活動や班での話し合い活動において、うまくいった経験やうまくいかなかった経験を思い出し、共有する。 ・今後の話し合い活動において、上手に話し合いができ、よりよい結論にすることができるように、本単元の学習を進めていくことを伝える。			
			話題の設定、情報の収集、内容の検討				・図書委員長からの依頼動画を見て、議題の言葉の意味を共有し、話し合うための情報を集め、整理する。	・議題の言葉の意味を理解し、集めた情報を観点に沿って整理することができる。 (ノート)	(指)「私たち」とは誰のことを指しているかを共有する。 (指)小学校や地域の図書館を踏まえ、中学校の図書館をどうしていくよいか話し合い、「揭示」「委員会活動」「授業との連携」等、観点に沿って整理する。	①
			目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。				・議題に対しての自分の意見と、その根拠となる事実との関係を明確にする。	・自分の意見、根拠、意見と根拠をつなぐ考えに一貫性のある考えをもてている。 (ノート)	(指)教科書p.52の思考のレッスン「意見と根拠」の学習を生かす。 ※ただし、話し合いの授業のため、互いに端的に話すことができるように指導する。 (評)生徒のノートを見て、一貫性があるか確かめる。	②
			構成の検討、考えの形成、表現、共有（話すこと） 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えること。				・どのような話し合いをすると、よりよい結論を導けるのか、話し合いのしかたを理解する。 ※別のテーマで、スキルアッププリントを使って、練習をする。	・よりよい結論にするための方法を理解できている。 (ノート)	(指)＜よりよい話し合いにするためのポイント＞ 【1】似ている点や違う点で整理する。 【2】「なんでそう思うの？」と、意見や考えの根拠に目を向ける。 【3】議題の言葉を大切にして提案を絞ったり組み合わせたりする。	③
			話し合いの進め方の検討、考えの形成、共有（話し合うこと） 話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。				・よりよい結論に向けて議論する活動を通して、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめる。	・振り返り活動において、自分自身が、「どのように話題や展開を捉えて話し合えたか」書けている。 (観察、ノート)	(指)発言のしかたの例を掲載したプリントを配付する。 (教)タブレット上で、座標軸(縦軸:効果、横軸:実現性)を用いて、それぞれの提案を分析する。 (評)生徒自身が単元で身に付けた力を理解できるようにする。	④
まとめ（学習の振り返り）				・グループ・ディスカッションにおいて、自分自身ができなかったことを整理しつつ、課題点も見つけ、今後の話し合い活動に生かしていけるようにする。						
関連する[知識及び技能] (1)言葉の特徴や使い方に関する事項 (2)情報の扱い方に関する事項 (3)我が国の言語文化に関する事項		1年	(2)	ア	情報と情報との関係 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。		・意見と根拠の関係性に着目したり、自分の意見と仲間の意見をつなげて考えたりすることができる。 (ノート)	(評)生徒のノートを見て、意見と根拠の関係に一貫性があるかを確かめる。	② ④	
学びに向かう力、人間性等に関する評価 (主体的に学習に取り組む態度)							・議題を自分事と捉えつつ、話し合いのしかたを理解し、積極的に互いの発言を結び付けて、話し合いに参加しようとしている。 (観察、ノート)	(教)図書委員長からの映像を見て、話し合いの意欲を高める。 (評)生徒がノートに記述した振り返りと観察から、判断する。	④	

※「留意点 他」の記号…(指)指導に当たっての留意点、(評)評価に対する留意点、(他)他の学習活動のアイデア、(教)教材・教具の工夫